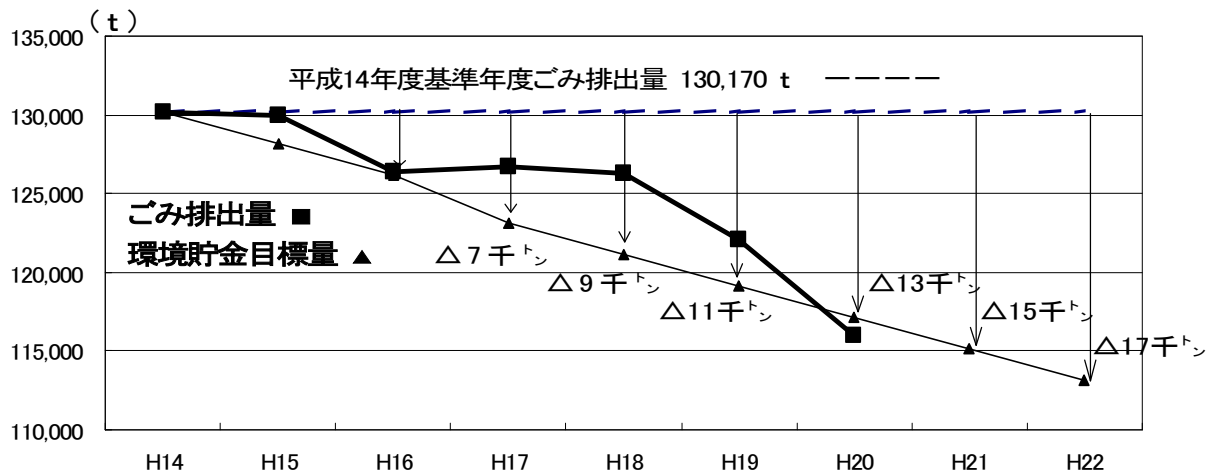


## これまでの減量啓発事業について

### 1 ごみ減量に向けた取組

#### (1) 環境貯金箱作戦

ごみを減らすことで処理経費が節約できることを市民に周知するとともに、節約された経費を市民に還元することで、ごみ減量意識を醸成し、市が処理するごみの減量につなげることを目的とし、平成16年度から実施している。



t	H16	H17	H18	H19	H20
ごみ排出量	121,098	126,753	126,282	122,114	116,021
基準年との増減	3,823減	3,417減	3,888減	8,056減	14,149減
環境貯金目標量	△4,000	△7,000	△9,000	△11,000	△13,000

※1 対象とするごみは、家庭ごみと粗大ごみ

※2 H16年度の基準排出量は、124,921 t

#### ○環境貯金箱作戦キャンペーン

平成20年度はスーパー店頭などで24回開催し、12,876人の市民にごみの減量を呼びかけた。

#### (2) ごみ減量・分別井戸端会議

町内会やサークルなど市民団体の集まりや小中学校に職員が伺い、ごみの減量方法や分別方法を知らせるとともに、ごみに関する意見や質問に答える出前講座として、平成17年度から実施している。

本市のごみ処理の現状や処理経費、家庭ごみの内容などを説明し、ごみ減量への理解を深めてもらうとともに、地球温暖化の状況や風呂敷の活用術なども紹介している。

#### ○開催状況

平成20年度は土・日や平日の夜も含め84回開催し、3,018人が参加した。

### (3) 事業系ごみの減量対策

平成13年度から職員による事業所訪問を実施しており、リサイクル可能な古紙類など資源化物の分別徹底に関する指導を行っている。

また、事業活動に伴ってごみを多く排出する事業者（多量排出事業者）から排出されるごみが、事業系ごみ排出量全体の約1/4を占めることから、平成20年度から多量排出事業者を対象にした減量指導も実施している。

#### ○一般事業所への訪問指導状況

市内約17,000事業所のうち、平成20年度は617事業所を訪問し、分別指導等を行った。

#### ○多量排出事業者への指導状況

平成20年度は、118の対象事業者のうち115の事業者を訪問し、ごみの減量と適正分別について指導した。

また、108の事業者から「一般廃棄物管理責任者」が選任され、市に届け出されたほか、ごみ減量、再資源化および適正処理を図るため、93の事業者から「一般廃棄物減量等計画書」が提出された。

### (4) その他（レジ袋対策）

現在、地球温暖化防止に向けた身近な取り組みとして、1人あたり年間約300枚使用しているとされる『レジ袋』の削減運動が全国的に進められており、本市でも、マイバッグの持参促進やレジ袋削減のきっかけ作りにもしてもらうため、レジ袋での排出の特例を見直した。

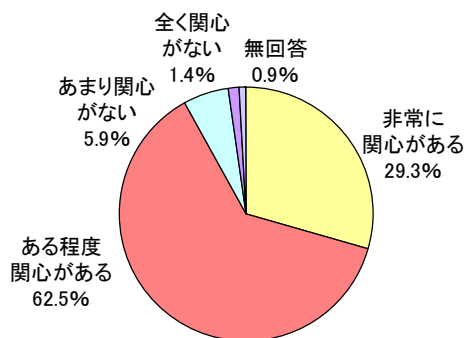
## 2 市民のごみ減量意識 ～ ごみに関する市民意識調査結果(平成19年度実施) ～

#### ○調査の概要

20歳以上の市民から男女別・年代別に1,000人を無作為抽出して、郵送によりアンケートを実施した結果、440人の方から回答があった。

(回答率44.0%)

#### ○ごみ問題への関心



#### ○ごみ減量・リサイクルへの取組

